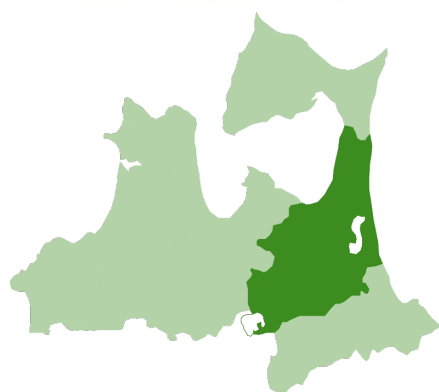




青森県基本計画

「青森新時代」への架け橋



上北の農林水産業

令和7年5月 青森県上北農林水産事務所



<表紙写真>

県産材を使用した
六戸学園の構造見学会
(六戸町)

ライムギ圃場
(自給飼料二毛作実証)
(東北町)

家畜防疫演習 (豚熱)
(十和田市)

天間ダム航空写真
(七戸町)

4Hクラブながいも
支柱立て作業
(東北町)

目 次

I	青森県上北農林水産事務所の組織図・分掌事務	1
II	上北地域の概要	
1	地勢	3
2	気候	3
3	人口	3
4	地域経済	4
5	農林水産業	
(1)	耕地面積	4
(2)	主要作物の作付面積	5
(3)	農業産出額	5
(4)	農家数	6
(5)	主要家畜の飼養頭数	7
(6)	森林の状況	7
(7)	水田の整備状況	7
(8)	水産業の状況	8
(9)	産地直売施設の状況	8
III	青森新時代「農林水産力」強化パッケージの概要	9
1	利益の最大化を目指す生産性向上	10
2	次代を担う人財の確保・育成	15
3	元気で豊かな農山漁村づくり	16

I 青森県上北農林水産事務所の組織図・分掌事務

■内訳

■農 林：50人

(所長・農林次長等含む)

■農村整備：26人

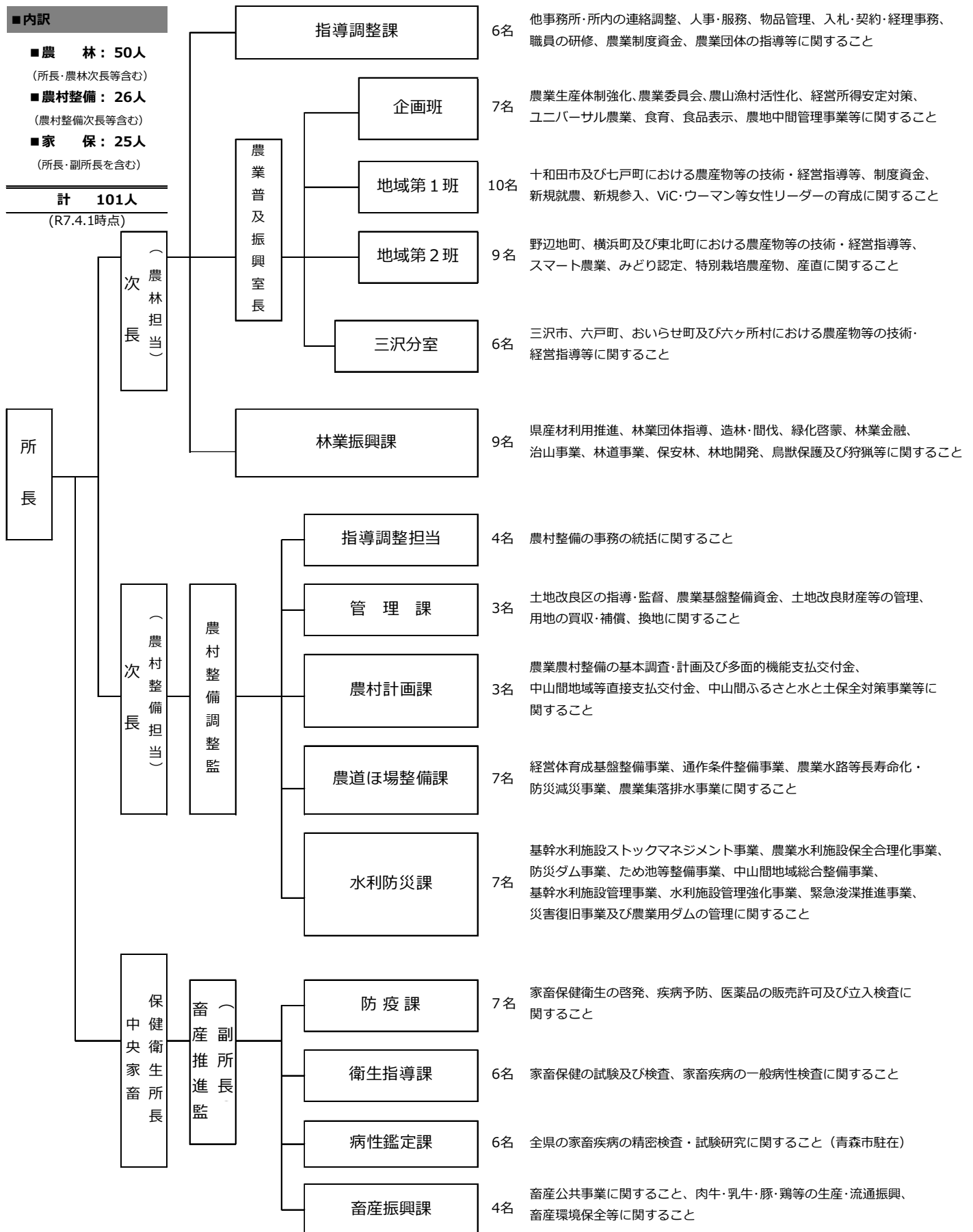
(農村整備次長等含む)

■家 保：25人

(所長・副所長を含む)

計 101人

(R7.4.1時点)



「青森県上北農林水産事務所」の所在地・連絡先

■指導調整課、農業普及振興室、林業振興課

〒034-0093 青森県十和田市西十二番町 20-12（青森県十和田合同庁舎 2 階）

TEL	代表:	0176-22-8111	FAX	指導調整課、林業振興課
	直通:指導調整課	0176-23-5388		0176-22-9161
	農業普及振興室	0176-23-4281		農業普及振興室
	林業振興課	0176-24-3379		0176-25-7242

注 所長、次長（農林担当）へ御連絡の際は、指導調整課までお願いします。

■農業普及振興室三沢分室

〒033-0024 青森県三沢市東岡三沢 1-1-7

TEL	0176-53-2498	FAX	0176-53-8539
-----	--------------	-----	--------------

■指導調整担当、管理課、農村計画課、農道ほ場整備課、水利防災課

〒034-0082 青森県十和田市西二番町 10-21

TEL	指導調整担当	0176-23-5245	FAX	指導調整担当
	管理課	0176-23-5246		0176-22-3929
	農村計画課	0176-23-5317		管理課、農村計画課、
	農道ほ場整備課	0176-23-5318		農道ほ場整備課、水利防災課
	水利防災課	0176-23-5250		0176-23-5247

注 次長（農村整備担当）へ御連絡の際は、指導調整担当までお願いします。

■中央家畜保健衛生所

〒034-0093 青森県十和田市西十二番町 19-23

TEL	防疫課、衛生指導課	0176-23-6235	FAX	防疫課、衛生指導課、畜産振興課
	畜産振興課	0176-23-5115		0176-23-3044

〒030-0134 青森県青森市合子沢松森 395-26

TEL	病性鑑定課	017-764-1744	FAX	病性鑑定課	017-728-0335
-----	-------	--------------	-----	-------	--------------

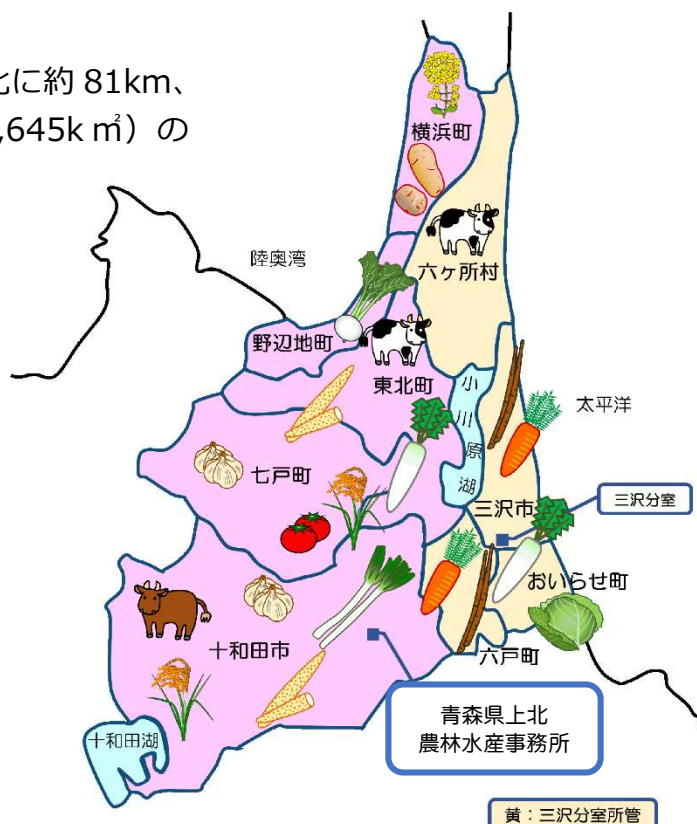
Ⅱ 上北地域の概要

※表の数値は、四捨五入などにより合計が一致しないことがあります。

1 地 勢

上北地域は、東西に約 52km、南北に約 81km、総面積が約 2,125k m²で、県全体（9,645k m²）の 22%を占めています。

十和田湖、小川原湖という 2 つの大きな湖が南部と東部に位置し、西部は八甲田連峰から八幡岳・野辺地烏帽子岳へ連なる山岳地帯、東部は火山灰土で覆われた三本木原・三沢・六ヶ所の 3 つの台地で形成されています。



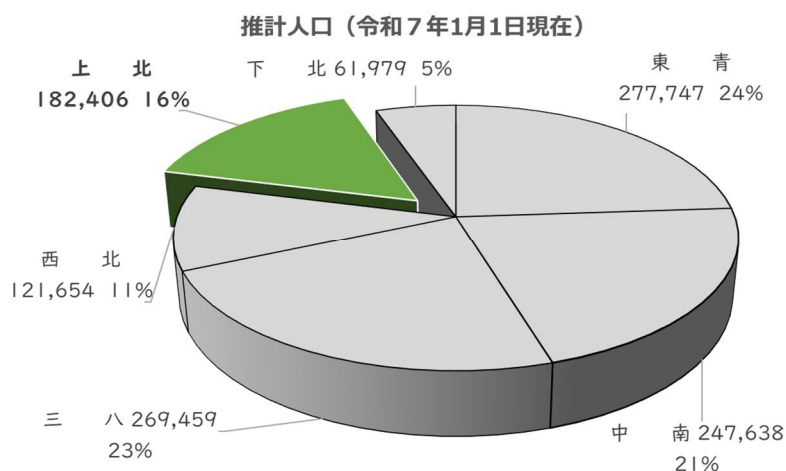
2 気 候

上北地域は広大であるため、市町村により気候は異なります。

しかし、太平洋側に位置するため、夏はヤマセ（偏東風）により低温が続くことがあり、冬は一部地域を除き降雪量が少ない特徴があります。

3 人 口

上北地域の人口は約 18 万人で、県人口（116 万人）の約 16%を占めており、地域別では第 4 位となっています。



[青森県の推計人口令和 7 年 1 月 1 日現在]

推計人口（令和 7 年 1 月 1 日現在）

市町村	推計人口(人)
十和田市	57,254人
三沢市	37,242人
野辺地町	11,310人
七戸町	13,371人
六戸町	10,067人
横浜町	3,877人
東北町	15,218人
おいらせ町	24,178人
六ヶ所村	9,889人
計	182,406人
県 計	1,160,883人

4 地域経済

上北地域の総生産額は8,911億円で、県全体（4兆4,391億円）の20.1%です。

そのうち、農業の総生産額は518億円で、県全体（1,704億円）の30.4%を占めています。

市町村内総生産（令和4年度）

（単位：百万円・％）

区分	上北	県	上北/県
農 業	51,752 (5.8)	170,420 (3.8)	30.4
林 業	827 (0.1)	3,978 (0.1)	20.8
水 産 業	2,587 (0.3)	31,191 (0.7)	8.3
鉱 業	2,379 (0.3)	9,541 (0.2)	24.9
製 造 業	269,258 (30.2)	609,023 (13.7)	44.2
建 設 業	76,797 (8.6)	289,274 (6.5)	26.5
卸売・小売業	83,089 (9.3)	653,273 (14.7)	12.7
運輸・郵便業	30,225 (3.4)	236,257 (5.3)	12.8
宿泊・飲食業	12,364 (1.4)	70,587 (1.6)	17.5
不 動 産 業	77,395 (8.7)	504,259 (11.4)	15.3
そ の 他	284,379 (31.9)	1,861,252 (41.9)	15.3
計	891,052 (100.0)	4,439,055 (100.0)	20.1

〔令和4年度市町村経済計算〕

5 農林水産業

上北地域は水稻・野菜・畜産を中心とした農業が営まれ、森林面積も総土地面積の約半分を占め林産資源も豊富です。

また、水産業は沿海でのホタテ養殖や小川原湖などでの内水面漁業等を中心に行われています。

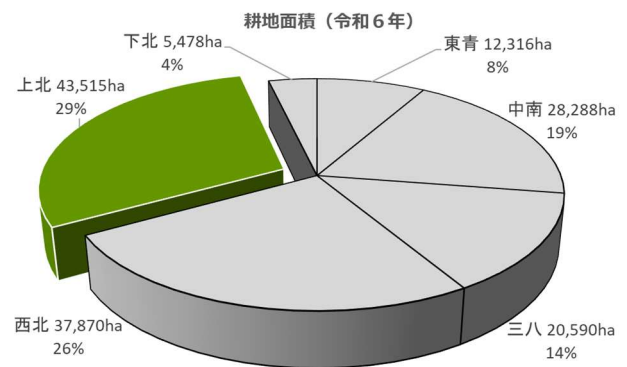
（1）耕地面積

上北地域の耕地面積は43,515haと県全体(148,400ha)の約3割を占め、県内で最も多い地域です。

その内訳は、水田が21,392ha、畑が22,112haとなっています。

〔令和6年作物統計〕

〔令和7年度青森県森林資源統計書〕



耕地面積（令和6年）

（単位：ha）

市町村	総土地面積 A	耕地面積 B (B/A)	田	畑	森林面積 C (C/A)	その他 D (D/A)
十和田市	72,565	12,100 (16.7%)	8,280	3,830	48,480 (66.8%)	11,985 (16.5%)
三沢市	11,939	3,610 (30.2%)	1,710	1,900	2,015 (16.9%)	6,314 (52.9%)
野辺地町	8,168	655 (8.0%)	193	462	5,272 (64.5%)	2,241 (27.4%)
七戸町	33,723	6,830 (20.3%)	3,800	3,020	22,465 (66.6%)	4,428 (13.1%)
六戸町	8,389	3,380 (40.3%)	1,930	1,450	2,449 (29.2%)	2,560 (30.5%)
横浜町	12,638	2,120 (16.8%)	350	1,770	8,162 (64.6%)	2,356 (18.6%)
東北町	32,650	7,980 (24.4%)	3,050	4,920	13,743 (42.1%)	10,927 (33.5%)
おいらせ町	7,196	3,200 (44.5%)	1,570	1,630	1,233 (17.1%)	2,763 (38.4%)
六ヶ所村	25,258	3,640 (14.4%)	509	3,130	12,856 (50.9%)	8,762 (34.7%)
上北計	212,526	43,515 (20.5%)	21,392	22,112	116,674 (54.9%)	52,336 (24.6%)
県計	964,512	148,400 (15.4%)	78,100	70,300	633,725 (65.7%)	182,387 (18.9%)

(2) 主要作物の作付面積

令和6年は、水稻 7,634ha、大豆 708ha が作付され、水稻は県全体の約 18%、大豆は約 13%を占めています。

野菜（令和5年）は、上北地域全体では、ながいも、にんにく、ごぼう、だいこん等の露地野菜が多く作付けされています。にんじん（三沢市、おいらせ町）、キャベツ（おいらせ町）、ねぎ（十和田市）、トマト（七戸町）、ばれいしょ（横浜町）、こかぶ（野辺地町、東北町）などは、それぞれの市町村で重点的に作付されています。

管内の主要作物作付面積（水稻・大豆：令和6年、野菜：令和5年）

（単位：ha）

市町村	水稻	大豆	ながいも	にんにく	ごぼう	だいこん	にんじん	キャベツ	ねぎ	トマト	ばれいしょ	こかぶ
十和田市	3,170	334	224	397	271	63	10	6	105	1	0	3
三沢市	215	x	154	171	309	120	179	4	0	-	64	-
野辺地町	23	-	21	-	2	-	1	0	0	-	2	35
七戸町	1,610	288	65	300	14	2	0	3	4	11	0	2
六戸町	699	38	83	116	225	39	67	-	-	-	2	-
横浜町	144	x	29	4	13	-	1	-	-	-	142	-
東北町	1,230	42	324	137	225	100	43	27	4	2	61	33
おいらせ町	521	6	60	20	160	300	220	96	2	1	7	-
六ヶ所村	22	x	151	3	21	41	25	14	-	-	9	-
上北計	7,634	708	1,111	1,147	1,240	665	545	150	116	15	288	73
県計	42,400	5,640	1,567	1,756	1,612	997	668	200	278	125	374	77
上北/県	18.0%	12.6%	70.9%	65.3%	76.9%	66.6%	81.6%	74.9%	41.6%	11.8%	76.9%	94.7%

〔水稻・大豆：農林水産関係市町村別統計（令和6年産）。表中の「-」は事実不詳又は調査を欠くもの、

「X」は個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため統計数値を公表しないもの〕

〔野菜：上北地域県民局調べ（令和5年産）〕

(3) 農業産出額

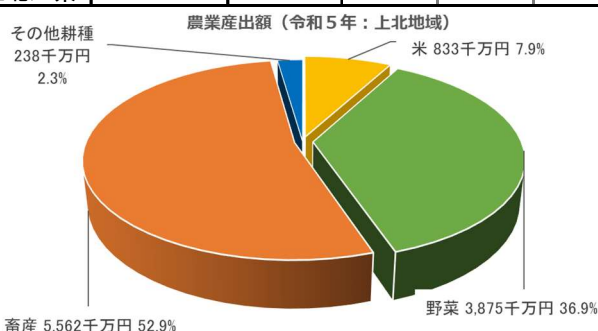
令和5年の上北地域の農業産出額は 1,051 億円で県全体の 30.4%を占め、地域別では県内1位となっています。

特に、野菜は県全体の 56.4%、畜産も県全体の 51.4%と 5 割以上を占めています。

農業産出額（令和5年）

（単位：千万円）

市町村	合計	耕種計	品目（一部抜粋）				畜産計	品目（一部抜粋）			
			米	野菜	果実	花き		肉用牛	乳用牛	豚	鶏
十和田市	2,936	1,203	376	788	9	x	1,733	372	28	1,262	71
三沢市	1,612	651	18	608	0	2	960	33	25	519	339
野辺地町	212	27	2	22	0	x	185	-	185	-	-
七戸町	1,110	436	167	236	8	10	674	620	12	38	-
六戸町	621	596	77	509	0	0	25	4	5	x	0
横浜町	1,227	107	16	32	0	0	1,120	33	41	x	1,027
東北町	1,472	1,037	127	876	0	x	436	80	189	35	133
おいらせ町	663	578	46	503	15	12	85	15	12	57	-
六ヶ所村	655	311	4	301	0	x	344	107	236	x	0
上北計	10,508	4,946	833	3,875	32	24	5,562	1,264	733	1,911	1,570
県計	34,581	23,756	5,113	6,870	10,960	132	10,827	1,659	916	2,583	5,075
上北/県	30.4%	20.8%	16.3%	56.4%	0.3%	18.2%	51.4%	76.2%	80.0%	74.0%	30.9%



〔令和5年市町村別農業産出額〕

「0」：単位に満たないもの

（例：0.4 千万円→0 千万円）

「-」：事実不詳又は調査を欠くもの

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表

(4) 農家数

令和 2 年の上北地域の総農家数は、6,630 戸で県全体の 18.2%を占めています。
このうち販売農家は 5,177 戸で、平成 27 年対比 77.2%と減少しています。

また、基幹的農業従事者のうち、65 歳以上の割合は 64.8%となっています。

専兼業別農家数

(単位: 戸・%)

地域	年次	総農家数	販売農家	専業	兼業	第1種	第2種	自給的農家
上北	平12	13,166	11,912 (100.0)	1,923 (16.1)	9,989 (83.9)	2,791	7,198	4,616
	17	11,666	10,083 (100.0)	2,103 (20.9)	7,980 (79.1)	2,397	5,583	1,583
	22	10,419	8,719 (100.0)	2,403 (27.6)	6,316 (72.4)	1,763	4,553	1,700
上北	27	8,394	6,704 (100.0)	2,267 (33.8)	4,437 (66.2)	1,405	3,032	1,690
十和田市		2,729	2,243 (100.0)	719 (32.1)	1,524 (67.9)	457	1,067	486
三沢市		615	548 (100.0)	205 (37.4)	343 (62.6)	143	200	67
野辺地町		159	73 (100.0)	31 (42.5)	42 (57.5)	12	30	86
七戸町		1,241	959 (100.0)	299 (31.2)	660 (68.8)	189	471	282
六戸町		908	743 (100.0)	236 (31.8)	507 (68.2)	172	335	165
横浜町		307	179 (100.0)	59 (33.0)	120 (67.0)	31	89	128
東北町		1,384	1,168 (100.0)	412 (35.3)	756 (64.7)	258	498	216
おいらせ町		737	557 (100.0)	200 (35.9)	357 (64.1)	93	264	180
六ヶ所村		314	234 (100.0)	106 (45.3)	128 (54.7)	50	78	80
県	27	44,781	34,866 (100.0)	13,309 (38.2)	21,557 (61.8)	7,341	14,216	9,915
上北/県	27	18.7%	19.2%	17.0%	20.6%	19.1%	21.3%	17.0%
上北	令 2	6,630	5,177	農業センサス2020調査から 専兼別統計は廃止				1,453
十和田市		2,307	1,865					442
三沢市		436	374					62
野辺地町		120	51					69
七戸町		1,008	769					239
六戸町		746	598					148
横浜町		228	119					109
東北町		1,021	857					164
おいらせ町		547	383					164
六ヶ所村		217	161					56
県	令 2	36,465	28,062					8,403
上北/県	令 2	18.2%	18.4%					17.3%

年齢階層別の基幹的農業従事者数

(単位: 人・%)

地域	年次	計	15～29歳	30～59歳	60歳以上	うち65歳以上
上北	令 2	8,476 (100.0)	125 (1.5)	1,842 (21.7)	6,509 (76.8)	5,494 (64.8)
十和田市		2,937 (100.0)	37 (1.3)	523 (17.8)	2,377 (80.9)	2,072 (70.5)
三沢市		687 (100.0)	16 (2.3)	201 (29.3)	470 (68.4)	387 (56.3)
野辺地町		72 (100.0)	2 (2.8)	13 (18.1)	57 (79.2)	48 (66.7)
七戸町		1,171 (100.0)	11 (0.9)	217 (18.5)	943 (80.5)	823 (70.3)
六戸町		893 (100.0)	8 (0.9)	167 (18.7)	718 (80.4)	600 (67.2)
横浜町		197 (100.0)	5 (2.5)	50 (25.4)	142 (72.1)	117 (59.4)
東北町		1,540 (100.0)	28 (1.8)	386 (25.1)	1,126 (73.1)	910 (59.1)
おいらせ町		669 (100.0)	12 (1.8)	183 (27.4)	474 (70.9)	390 (58.3)
六ヶ所村		310 (100.0)	6 (1.9)	102 (32.9)	202 (65.2)	147 (47.4)
県	令 2	48,083 (100.0)	725 (1.5)	11,921 (24.8)	35,437 (73.7)	29,326 (61.0)
上北/県	令 2	17.6%	17.2%	15.5%	18.4%	18.7%

※基幹的農業従事者とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

[2005～2020 農林業センサス]

(5) 主要家畜の飼養頭数

上北地域は畜産が盛んで、家畜の飼養頭数の県全体に占める割合は、乳用牛が 89.5%、肉用牛が 69.4%、豚が 74.1%、採卵鶏が 31.0%、ブロイラーは 53.5%となっています。

主要家畜の飼養頭数(令和6年2月1日現在)

(単位:頭、千羽)

	乳用牛(雌)		肉用牛		豚	採卵鶏	ブロイラー
		2歳以上		繁殖雌			
上北計	9,940	6,460	38,500	8,300	248,100	2,027	4,087
県計	11,100	8,540	55,500	10,300	334,800	6,540	7,639
上北/県	89.5%	75.6%	69.4%	80.6%	74.1%	31.0%	53.5%

[上北計：県畜産課調べ、県計：農林水産統計年報]

(6) 森林の状況

ア 上北地域の総面積の 54.9% (116,674ha) が森林で、そのうち民有林が 43.1% であり、県全体の民有林の割合 (37.6%) より高くなっています。

イ 所有規模が零細な所有者※が多く、造林や森林整備、伐採等の作業は森林組合や林業事業体に依頼しています。

※保有山林面積が 1ha 以下の世帯

管内の森林現況(令和7年)

(単位:ha・戸)

市町村	総土地 面積 A	総森林 (森林率)						林家数と保有山林面積			
		総森林 B	(森林率) B/A	民有林 C	(比率) C/B	国有林 D	(比率) D/B	戸数 E	(比率) E/F	面積 G	(比率) G/H
十和田市	72,565	48,480	(66.8%)	19,346	(39.9%)	29,134	(60.1%)	1,101	(35.9%)	4,645	(38.0%)
三沢市	11,939	2,015	(16.9%)	1,749	(86.8%)	266	(13.2%)	142	(4.6%)	414	(3.4%)
野辺地町	8,168	5,272	(64.5%)	3,277	(62.2%)	1,995	(37.8%)	115	(3.8%)	371	(3.0%)
七戸町	33,723	22,465	(66.6%)	7,480	(33.3%)	14,984	(66.7%)	487	(15.9%)	2,668	(21.8%)
六戸町	8,389	2,449	(29.2%)	2,449	(100.0%)	0	—	264	(8.6%)	922	(7.5%)
横浜町	12,638	8,162	(64.6%)	3,002	(36.8%)	5,160	(63.2%)	82	(2.7%)	164	(1.3%)
東北町	32,650	13,743	(42.1%)	7,613	(55.4%)	6,131	(44.6%)	632	(20.6%)	2,243	(18.3%)
おいらせ町	7,196	1,233	(17.1%)	1,233	(100.0%)	0	—	132	(4.3%)	458	(3.7%)
六ヶ所村	25,258	12,856	(50.9%)	4,106	(31.9%)	8,750	(68.1%)	108	(3.5%)	352	(2.9%)
上北計	212,526	116,674	(54.9%)	50,254	(43.1%)	66,420	(56.9%)	F 3,063	(100.0%)	H 12,236	(100.0%)
県	964,512	633,725	(65.7%)	237,979	(37.6%)	395,746	(62.4%)	13,801		70,728	
上北/県	22.0%	18.4%		21.1%		16.8%		22.2%		17.3%	

[令和7年4月青森県森林資源統計書、林家数と保有山林面積のみ 2020 農林業センサス]

(7) 水田の整備状況

上北地域の水田の整備率は、86.2%となっています。

水田の整備状況(令和6年度)

(単位:ha)

地域	水田面積	整備済									未整備	
		面積	標準区画30a程度以上 整備済					20a未満	面積	割合	面積	割合
			1ha以上	1ha未満 50a以上	50a未満 30a以上	30a未満 20a以上	20a以上 整備率					
東青	8,213	5,890	208	727	4,030	925	71.7%	923	6,813	83.0%	1,400	17.0%
中南	11,536	8,604	264	476	6,769	1,096	74.6%	2,669	11,273	97.7%	263	2.3%
三八	7,234	2,664	111	200	1,436	916	36.8%	3,250	5,914	81.8%	1,320	18.2%
西北	27,843	23,576	1,822	1,131	18,291	2,332	84.7%	751	24,328	87.4%	3,515	12.6%
上北	21,392	12,448	301	733	8,676	2,738	58.2%	5,982	18,430	86.2%	2,962	13.8%
下北	1,299	594	108	64	74	349	45.7%	178	771	59.4%	528	40.6%
県	77,500	53,776	2,813	3,330	39,276	8,356	69.4%	13,753	67,529	87.1%	9,988	12.9%
上北/県	27.6%	23.1%	10.7%	22.0%	22.1%	32.8%	—	43.5%	27.3%	—	29.7%	—

[令和7年度あおもりの農村整備]

(8) 水産業の状況

ア 上北地域では、陸奥湾及び太平洋海域で海面漁業が、小川原湖、十和田湖、奥入瀬川、高瀬川などで内水面漁業が営まれています。

令和6年における上北地域の海面漁業は、漁獲数量が6,191t（県全体の5.3%）、漁獲金額が25億円（同7.4%）となっています。

漁獲数量が多いのは、陸奥湾ではホタテガイ、カレイ、ナマコなどで、太平洋海域ではスルメイカ、サバ、サケ、ウバガイ（ホッキガイ）などです。

海面漁獲数量・金額（令和6年）

地域	漁獲数量（属地、単位：t）					漁獲金額（属地、単位：百万円）				
	計	魚類	貝類	その他水産動物	海藻類	計	魚類	貝類	その他水産動物	海藻類
上北	6,191	1,533	4,112	541	6	2,532	602	1,213	705	12
三沢市	951	486	204	261	0	497	167	85	245	0
野辺地町	1,160	55	1,020	85	0	557	34	305	218	0
横浜町	2,950	178	2,729	44	0	996	148	760	88	0
おいらせ町	322	155	160	8	0	128	60	63	5	0
六ヶ所村	807	658	0	143	6	354	193	0	149	12
県	117,701	72,887	31,896	11,777	1,141	34,061	13,125	8,628	11,783	525
上北/県	5.3%	2.1%	12.9%	4.6%	0.5%	7.4%	4.6%	14.1%	6.0%	2.2%

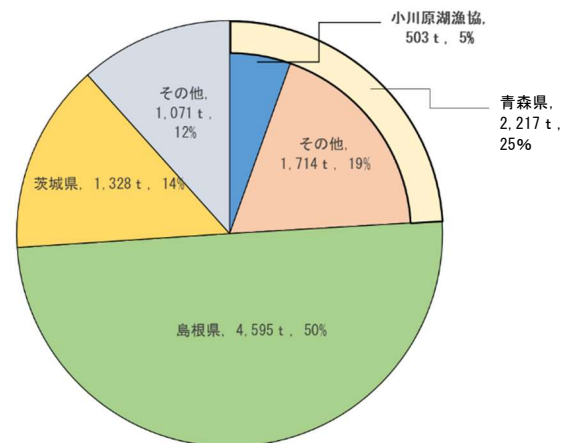
〔青森県海面漁業に関する調査結果書(R6年)〕

イ 上北地域の内水面漁業については、全国でも有数の漁獲数量・金額を誇る小川原湖があり、主力のシジミは令和5年の漁獲数量が約503tで、全国の約5%を占めています。

また、ワカサギ、シラウオの産地としても有名です。

〔小川原湖漁協、内水面漁業生産統計〕

シジミ漁獲量（令和5年）



(9) 産地直売施設の状況

上北地域には、産地直売施設が35か所あります（うち、道の駅が7か所）。

令和5年度の年間販売額は約34億円で、1施設当たりの平均販売額は、約9,600万円となっています。

産直施設の販売額（令和5年度）

地域	施設数 A	販売額（万円）	
		全施設総額 B	1施設当たり平均額 B/A
東青	24	173,792	7,241
中南	31	285,888	9,222
三八	34	229,412	6,747
西北	28	261,772	9,349
上北	35	336,775	9,622
下北	14	35,617	2,544
県	166	1,323,256	7,971
上北/県	21.1%	25.5%	120.7%

〔県食ブランド・流通推進課調べ〕

Ⅲ 青森新時代「農林水産力」強化パッケージの概要

青森県基本計画「青森新時代」への架け橋では、農林水産業に関する施策や取組が、政策テーマ「しごと」を中心に、多岐に渡っています。

基本計画の政策テーマ「しごと」では、2040年に目指す姿として「農林水産業が持続的に発展する社会」を掲げています。

このため、農林水産業が持続的に発展する社会の実現に向けた取組を①販売力強化、②生産性向上、③人材育成、④農山漁村振興の4つの柱に整理し、政策パッケージとして策定します。

青森県基本計画「青森新時代」への架け橋の概要



めざす姿

農林水産業が持続的に発展する社会



1 利益の最大化を目指す生産性向上

○取組事項名：持続可能な中部上北スタイル水田農業推進事業

土場川地区では、大規模なほ場整備事業により水田の汎用耕地化が進められていますが、高収益作物への転換や労働力不足に対応したスマート農業の導入が停滞しています。

そこで、整備水田において収益性の高いにんにくの作付実証やスマート農業技術の展示等により高収益作物の普及・拡大に取り組み、次世代につながる生産体制の強化を推進しています。



高収益作物（にんにく）の作付実証

○取組事項名:水稻新品種「はれわたり」の良食味・高品質生産の推進

水稻新品種「はれわたり」の良食味安定生産を目指して、関係機関一体となった技術対策を実施するため、「はれわたり」生産指導プロジェクトチームによる指導活動を行っています。

本年は、管内に指導拠点ほ1地点（十和田市）と生育観測ほ4地点（七戸町1地点、東北町1地点、六戸町1地点、おいらせ町1地点）を設置し、これらの生育調査結果を基にしたきめ細かな栽培指導を行います。



指導拠点ほ現地巡回

出穂後にはチームによる現地巡回を実施し、品種特性を踏まえた適期収穫等と呼びかけるほか、年度末にはチーム連絡会議を開催し、生育状況や指導結果等を振り返り、次年度の生産に向けた情報共有・検討を行うこととしています。

○取組事項名：技術改善と基本技術の徹底による大豆の生産力強化

上北地域では転作作物として大豆が栽培されていますが、地域の収量（令和元年～5年の5年平均）は121kg/10aで東北の平均収量（140kg/10a）を下回っています。

収量が低い要因としては、は種量が少ないことや雑草対策が不十分なこと、連作による地力の低下等があります。



大豆栽培現地検討会

そこで、地域全体の収量・品質の向上を図るために、基本技術の徹底と、経営体に合わせた技術改善の個別支援を進めています。

また、現地検討会や生産者座談会を開催し、生産者同士の情報交換を行い、生産者のレベルアップを図っています。

○取組事項名：担い手育成と種苗増殖法の転換によるながいも産地力の強化

上北地域は、本県のながいも作付面積の約70%を占める主要な産地ですが、高齢化や気象災害等の影響から、近年の作付面積は漸減傾向となっており、平均販売単収とAB品率が県の平均より低い状況が続いています。

このため、産地の後継者となる若手生産者に向けて、JAと連携した担い手育成塾の開催や県全体で実施するながいもプロフェッショナル養成所への参加誘導を行うことで、栽培技術の向上を図っています。



種苗選別技術（七戸町）

また、JA等と連携しながら「切いもによる種苗増殖技術現地実証ほ」などを活用して、品質向上が見込まれる種苗の「切いも」体系への転換を進めるなど、優良種苗の安定生産・供給による、ながいも産地力の強化に取り組んでいきます。

○取組事項名：再造林の推進

管内には国内有数の規模を誇るＬＶＬ（単板積層材）工場をはじめ多様な木材加工施設が稼働しており、旺盛な原木需要に伴い伐採面積が増加傾向にあることから、「伐って、使って、また植える」循環型の林業を確立し、森林の持つ多面的機能を維持・向上させることが重要となっています。



東北小学校児童の再造林体験

そこで、従来の国の造林補助事業に加えて、令和５年度から意欲ある林業事業体が森林所有者に代わって行うコンテナ苗等による低コスト再造林を県事業で支援しており、今年度もこれらの取組を積極的に実施し、再造林を推進していきます。

○取組事項名：林道事業の推進

木材を安定的かつ効率的に供給するためには、木材生産や適切な造林・保育・間伐等の森林整備の実施を目的とした恒久的施設として、基幹的な林道の整備が必要となっています。

このため、上北管内では、森林所有者や東北町からの要望に応えて、令和７年度から５か年で、県が町に代わり経費を負担して林道を開設する「県営林道開設事業」により、「滝沢平切左坂道ノ下線」を整備します。



林道「滝沢平切左坂道ノ下線」完成イメージ

○取組事項名：上北地域におけるほ場整備事業の推進

地元農家からの要望を受け、東北町・七戸町の土場川地区 484ha、十和田市の赤石地区 36ha の 2 地区において農地の大区画化、暗渠排水などのほ場整備事業を実施しています。

また、農地中間管理事業の活用などにより担い手への農地集積・集約化を進めていくほか、水稻だけでなく高収益作物の導入を促進し、水田農業の収益力向上を推進します。



整備後の水田（土場川地区）

○取組事項名：上北地域における農業用ダム事業の推進

上北地域には、農業用ダムとして、かんがい用水の確保を図るための利水ダムと農村地域の洪水被害を防止する防災ダムが計 6 基設置されています。

この中には築造から数十年以上経過したダムもあり、施設の老朽化による不具合や機能低下が顕在化している状況にあることから、平成 29 年度から国の補助事業を活用し、天間ダムをはじめとする 6 ダムで改修・更新が行なわれており、今後も順次、施設の長寿命化を図っていきます。



天間ダム（下流から上流を望む）

○取組事項名：畜産公共事業の推進

六ヶ所村大字平沼に位置する六ヶ所村酪農振興センターは、県内で唯一の公設乳用牛周年預託施設であり、地域の乳用子牛を預かり搾乳可能な年齢まで育成する役割を担っていますが、経年による牧草地の生産性低下や施設の老朽化、輸入飼料利用に伴うコスト増、預託需要の増加に対応できないなどの課題が生じています。



乳用牛の周年預託施設

このため、八森地区草地畜産基盤整備事業（R5～R9 年度）を実施し、牧草地の整備、育成牛舎、堆肥舎等の施設を新設することで、各種課題の解決、預託施設としての機能の充実を図り、酪農経営の安定化に取り組むこととしています。

○取組事項名：特定家畜伝染病（口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザ・豚熱・アフリカ豚熱）の防疫対策

上北地域では、高病原性鳥インフルエンザが令和4年度に過去最大規模で発生しましたが、以降は確認されていません。豚熱は、飼養豚にはワクチン接種による防疫をしていますが、令和6年8月に県内の野生イノシシで感染が確認されました。また、近隣のアジア諸国において、口蹄疫やアフリカ豚熱などが継続発生しています。



焼却演習

家畜の飼養密度が高い当地域では、これら家畜伝染病の侵入による被害の拡大が危惧されることから、発生時の対応についての防疫演習のほか、発生防止に向けた飼養管理基準の遵守や異常家畜の早期発見、早期通報、野生動物の侵入防止などの指導を強化しています。

2 次代を担う人財の確保・育成

○取組事項名：新規就農者の定着と経営管理能力の強化

農業経験の浅い新規就農者を対象に、生産技術や経営管理能力の向上を目的とした「ヤングファーマーゼミナール」を開催しています。このゼミナールでは、営農基礎・農作業安全等の研修を通じた「農薬の使用方法」や「土づくり」などの知識・技術の習得のほか、パソコンを活用した複式簿記の研修により経営スキルの向上を支援しています。また、地域の農業士会と連携した研修会・交流会等を通じて新規就農者の実践的な技術習得や仲間づくりを促進するなど、地域ぐるみでの支援に取り組んでいます。



地域の先輩農業者研修

さらに、重点的な支援が必要と判断した就農者には、本人の同意を得た上で普及指導員が伴走支援を行い、個別の課題解決を支援しています。

3 元気で豊かな農山漁村づくり

○取組事項名：ユニバーサル農業の推進

農福連携は、農林水産業の担い手の一員として障がい者が活躍することにより、農業経営の発展とともに障がい者の自信や生きがいを創出する取組です。

令和6年度は管内3JA等と連携し、東北町の福祉事業所が開設したポータルサイト「あおもり農福連携プロジェクト」を活用して、農福連携を体験する「チャレンジ農福」を13件実施し

たほか、現地検討会を開催し、これらの取組を広く周知しました。また、農業者と福祉事業所をつなぐ場として初めて「ノウフク交流会」を開催し、お互いを知りマッチングを進める良い機会となりました。

今後は、農福連携に加え、多様な人々が従事できる農業を「ユニバーサル農業」とし、その取組拡大に向けて、生きづらさを感じている者などへ対象を広げ、地域の状況を踏まえたマッチングを支援していきます。



農福連携現地検討会